

ふるさと名所紀行

祖母山とウガヤフキアエズ王朝

昭和32年 飛田川出身 藤島 寛高

みなさんは、祖母山の麓にある

神原地区をご存知でしょうか?

ここに「健男霜凝日子神社」と

いう立派な神社があります。

通称「穴森神社」または「神

原神社」とも呼ばれていますが、

実は、「ここは謎だらけの『不可解

な神社』」なのです。

ませんよねえ。

さらに、神様を拝む方角は祖

母山の山頂を指していません。

一体誰を拝むための施設なので

しょうか?

母山の拝殿



拝殿



下宮

謎4 上宮

祖母山の山頂には、石の祠があつて、そこに祀られているのは

「高千穂大明神」です。

この「高千穂大明神」と「祖

ものぞいてみてください。そこ

には「豊玉姫」と「彦五瀬命」

の名前があります。この人たち

は一体誰なのでしょうか? し

かも、なぜ裏側に書く必要があつたのでしょうか?

さてさて、このあたりで大混

乱できませんか?

なぜ、「上宮」「中宮」「下宮」と「遙拝所」で、それぞれ違う

神様が祀られているのでしょうか?

まるで、何かを悟られない

ために、わざと隠していると

しか思えません。

そこには、私たち竹田市出身

者さえも知らない、深い深い秘密があつたのです。

「豊玉姫」だけではあります。その息子の「ウガヤフキアエズの命」や、孫の「五瀬命」も、スサノオ信仰などに塗り変えられています。

つまり通称「日向三代」と呼

ばれるこれらの神様たちは、明

治政府にとことん嫌われていた

ことです。

いつたい、明治政府は、何を

考えていたのでしょうか?

明治政府は豊玉姫を嫌っていた?

もともと、この場所に祀られていたのは「豊玉姫」という女

神様とその一族だったのです。

この「豊玉姫」こそ、実は日本

の水を抜いて、そこから竜の骨が出てきたという伝説で有名な場所です。

ところが、ここのご祭神は「祖母山大明神」となっています。緒方三郎惟栄も信仰していましたといふこの竜神様とは、いったい誰なのでしょうか?

の水を抜いて、そこから竜の骨が出てきた半魚人だったのです。

明治13年、この神社を「国弊社」(国立神社)に昇格させようという動きが盛り上がり、立派な社殿も整備されました。当時の教部大輔は、この申請をあつさりと却下します。

しかも、この申請を通すために、あえてご祭神を「タケオシモコリヒコ」に変更したというのです。「そうしないと申請が通りにくかったから」と、地元の人々が証言しています。

言いかえれば、「豊玉姫」とその一族は、明治政府から敬遠されていたのではないかということです。

その一族は、明治政府から敬遠されていたのではないのかといふことです。

「豊玉姫」だけではありません。その息子の「ウガヤフキアエズの命」や、孫の「五瀬命」も、スサノオ信仰などに塗り変えられています。

つまり通称「日向三代」と呼

ばれるこれらの神様たちは、明

治政府にとことん嫌われていた

ことでした。

いつたい、明治政府は、何を

考えていたのでしょうか?

『上記』が伝えるもうひとつの中宮

ここは、通称「穴森神社」と

呼ばれているので、ご存知の方も多いと思います。

さて、代々豊後国の領主を務めてきた大友家。その家系に門

外不出として伝わる『上記』と
いう古文書が存在することをご
存知でしょうか?

しかもこの古文書は「豊國文
字」という神代文字で書かれて
いたため、最近まで誰も読むこ
とができなかつたのです。

そこには、とんでもないもう
ひとつの中代史が書かれていま
した。

つまり、要約しますと……

◆ニニギの命は祖母山に天孫降
臨した。

◆そこから北側に下り、大野川
流域を中心に古代国家を作つ
ていつた。

◆その首都は「大分の宮」と呼
ばれ、現在の植田タウンの付
近にあつた。

◆近くの靈山にはヤタの鏡が置
かれ、ここに天照大神が祭ら
れていた。

◆一方、竹田には「直入の宮」
と「二上の大宮」があり、こ
こは信仰や文化の中心地だつ
た。

◆そして、孫のウガヤフキアエ
ズの命は、この地から日本全
国を統一して、その治世は少
なくとも74代以上続いた。

この古代國家は「ウガヤフキ
アエズ王朝」と呼ばれています。
が、現在では実在しなかつたと
する説が有力となつています。

いつたななぜ明治政府は、こ
の古文書を封印し、全国各地の

神社から「日向三代」の神々の
痕跡を消していくのでしよう
か? その答えはあえてここに
いじり、「豊國文」とよくに文
字は書きませんが、ひとつだけい
い対立する勢力であった可能
性が高いということです。

興味のある方は、私の運営す
るサイトを覗いてみてください

。い。『ウガヤフキアエズ王朝実
在論』<http://ugayaya.jmdoc.com/>

最後にもう一度強調しておき
ます。

実は、日本百名山の祖母山こ
そ本当の天孫降臨の地であり、
竹田こそ日本文明発祥の聖地で

あり、それをもたらしたのは豊
玉姫らを中心とする「日向三
代」の神々だったのです。(あ
くまでも『上記』の記述が正し
いとすれば……ですが)

だから私たち竹田市出身者
は、消えかけた古代史の真実を
探求して、後世に伝えてゆく義
務があります。

◆神原地区にある神社は、私た
ちの祖先が残した「謎解きのヒ
ント」なのかもしれません。

*もし、詳しい情報をお持ちの方
メール(tujishima@jpmpromotion.co.jp)までお知らせください。

荻町史談会会長 後藤 文雄

白洲次郎 (続編)

平成二十一年春、NHKのド

ラマ「白洲次郎」の中で、父文
平さんが晩年過ごされた荻町桑
木の山中で、亡くなるシーンが
数分間放映されました。その画
面に大きく「大分県直入郡荻
町」の文字が表示された。すると
と、翌日から荻中央公民館に問
い合わせの電話が殺到したと聞
いた。

白洲文平、明治二年(一八六
九)生まれ。明治学院大卒、
ハーバード、ボン大学留学。の
ちに貿易会社「白洲商会」を創
業、巨万の富を築く。豪放・放
漫な性格。周囲からは、「白洲
將軍」と畏敬された。建築が趣
味。

昭和三年、白洲商会は、昭和
金融恐慌で倒産、現在の竹田市
荻町桑木に洋館を建て移り住ん
だところ。

前記ドラマの主人公次郎は息
子で、戦後新日本国憲法制定に
もかかわった。吉田茂外相(の
ち首相)の側近として、進駐し
てきたマッカーサーに対等に接
し、GHQに「従順ならざる唯
一の日本人」と言われた外交官。

では、どうして文平さんが荻
町に住み着いたか。話によると
荻村のある村議が、北九州の町
で偶然に出会い意気投合した。

荻村の風土や環境の話になり、
村議は夏は冷涼で広大な耕地や
山林があると話し、中でも鶴が
多いという話が気に入り来るよ
うになつたようだ。

金も暇も十分な隠居生活、狩
猟にも興味があつたのだろう。

昭和三十年代まで荻町の田畠の
畦元には鶴がいた。冬、稻刈り

後の畦元を歩くと足元から、唸
るような大きな羽音を発して飛
び立ち、一メートルの高さを水

平に数十メートル飛んでゆく、
味の良い鳥だった。その後の機

械化で、手刈りの時のような落
ち穂がなくなり冬期の田畠も耕
起され、餌がなくなつたのか今

は野生の鶴は全く見かけない。

文平さんは、荻に着くと洒落
た洋館を建てた。残された写真

では、暖炉の前にくつろぐ姿も
見える。近くの小川からポンプ

で水を汲み上げての水洗トイ
レ。ベッドの下には棺桶が置か

れていたのは有名。狩用の馬も
数頭飼われ、近所の男達が馬の

世話をしたり、狩りの時、馬上
から銃を撃つ文平さんの手伝い

をして獲物は貴い本人は食べな
かつたとも。文平さんは、近所

の女達が身の回りの世話をして
いたという。

昭和十年(一九三五)、文平
さんは六十六歳で亡くなつてい
ます。亡骸は、黒塗りの車が來
て引き取られた。村人は、初め
て見る車に驚いたという。

私は、文平さんが亡くなつた
昭和十年生まれで、文平さん
ことは知らない。戦後の少年時
代、桑木の親戚の家に遊びに行
くと、よく屋敷を見に行つた。

ガラス窓の縁は白いペンキが塗
られた洋風の建物に驚き、村人
は、「鼻高さんの家」と呼んで
いた。

私は、鼻の高い金髪の外人が
住んでいたと思いこんでいた。
祖父や父は、知っていたと思う
が、偉大な人がいたことを知つ
ていたか定かではない。

文平さんの亡き後は、向井さ
ん家族が住まわれた。妹が向井
さん宅の子供と同級生であつた
ので、よく遊びに行き「赤いレ
ンガの家だつた」と話してくれ
た。

地に住居を新築したが、当時の
馬屋の一部は今も残つてゐる。

一昨年、向井さん宅に文平さ
んの曾孫になる白洲信哉さんが
訪れた。私は、子供の頃眺めた

住居や古老から聞いた話などを
伝えたが、十分な対応はできな
かった。

その折に、屋根の上に立てら
れていたという立派な避雷針を
見せていただいたが私は覚えて
いなかつた。